

シート1の情報を基に校内委員会でシート2の内容を検討します。

主な課題となっていること

- ①できる課題には取り組むようになったが、新しい課題や苦手な課題については、取り組みに消極的。
- ②教室でのトラブルは減ってきているが、教室以外ではトラブルが多い。

①から⑩で必要な枠に記入しましょう。
※空欄はそのままが良い

支援の基本方針(校内でどんな支援が必要か?)

- ・担任以外の職員からのサポート
- ・個別の支援とその人的配置
- ・みんなが認められる学級経営

校内でこんな支援ができる!

①学級担任の支援

よい行動をほめる。本人のできそうなプリント等の用意。学級全体での認め合い活動。

②コーディネーターの支援

学級担任への情報提供。全校職員への働きかけ、共通理解等。他機関への連絡調整。

③管理職(含む教務主任)の支援

Aさんの状況把握。サポートできる職員の調整(空き時間等)交換授業の実施

④養護教諭の支援

気持ちが不安定になっているときのサポート(落ち着けるための場の提供但し担任からの連絡後)

⑤T.T.・小グループでの支援

Aさんのいるグループを、一方のグループより少人数にする。

2 年 1 組

A さん

の目標について
(校内支援体制)

目標

- ・友だちとトラブルなく生活する。
- ・苦手な学習にも取り組む。

⑥教科・専科担任の支援

空き時間を利用して、Aさんのサポートに入る。

⑦特担等による支援

特別支援学級はない。

⑧通級指導教室の支援

現在は利用していない。

⑨スクールカウンセラー等の支援

本校にはない。

⑩その他(その他の学級担任、職員)

空き時間を利用して、Aさんのサポートに入る。休み時間等のAさんの様子を担任に伝える。Aさんを認める声かけをする。

それぞれの支援を行ってみてどうだった?(校内支援に対する評価)

- ①…できる課題については、取り組もうとすることが多くなった。本人が難しいと感じるものについては、あまりやろうとしない。友だちからAさんを認める発言が出てきた。トラブルは、減ってきている。
- ②③⑤⑥⑩…全職員がAさんを知り、共通理解ができたことで、Aさんへの対応が統一された。教室以外の場面でも、トラブルが減り、笑顔で過ごせることが増えてきた。
- ④…イライラしたときや気分が落ち着かないときに、担任の促しにより保健室に行き、話を聞いてもらい、落ち着いてから教室に戻ることがあった。
- ◆学習の集中時間や学習活動への参加、学習の定着は、十分と言えない。まだ些細なことからトラブルになることがある。

今後どのような支援が必要か?

引き続き行う支援

現在行っている支援を継続する。

新たに必要とする支援

- ・Aさんに合った学習の仕方を提供する。
- ・友だちとの良好なコミュニケーションの仕方を学習する。
- ※他機関との連携(「個別指導計画」作成のための助言)